

SDGsナレッジバンクセミナー

取り組みに寄与するソリューション紹介

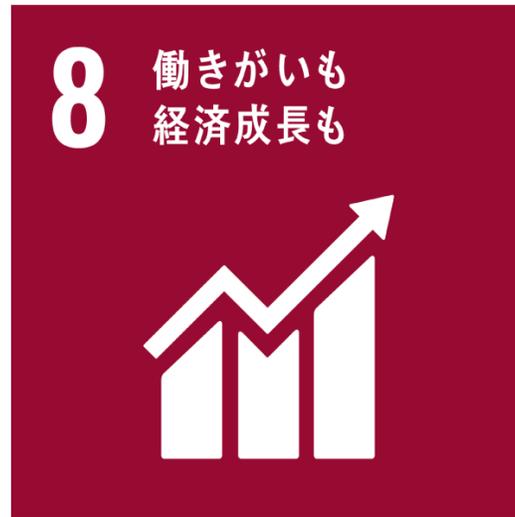
交通事故防止機器 モービルアイ製品他

ジャパン・トゥエンティワン株式会社

# J21が扱う製品 該当する目標



運転行動を数字で把握し、  
運転手の癖や調子を確認、  
事故を未然に防ぐ



同一の運転基準で評価される仕組み、公平で働きやすい職場へ



交通事故の防止を通して、  
安心安全なまちづくり

# 該当する目標



運転行動を数字で把握し、  
運転手の癖や調子を確認、  
事故を未然に防ぐ



同一の運転基準で評価さ  
れる仕組み、公平で働き  
やすい職場へ

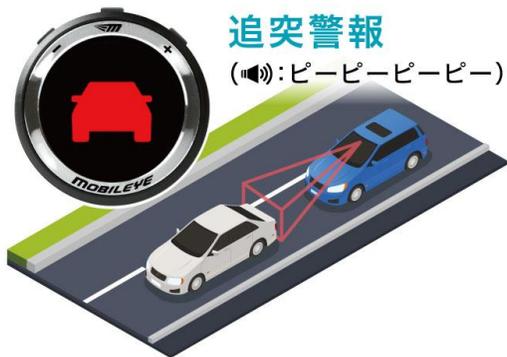


交通事故の防止を通して、  
安心安全なまちづくり

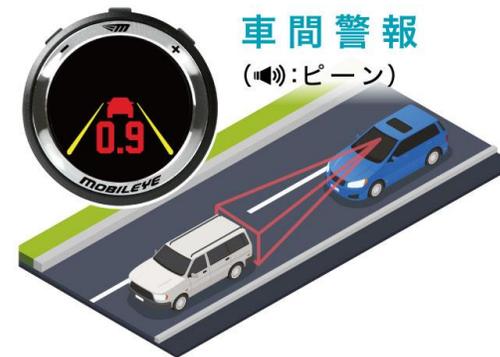
# 5つの警報機能で交通事故を防止



前方車両に2~3mの位置まで近づいた時や、時速30km以下で追突の危険を予測した場合。



前方車両に追突の危険を予測した場合。



時速30km以上で走行中、設定した車間秒数まで前方車両に近づいた場合。



設定により、ウインカーを出さずに車線を踏む直前、また踏み越えた場合。



歩行者に衝突の危険性を予測した場合。

# 8.5万台採用されているモバイルアイ (2024年6月)

## 〈乗用車〉

約30,000台

リース会社：25,000台以上

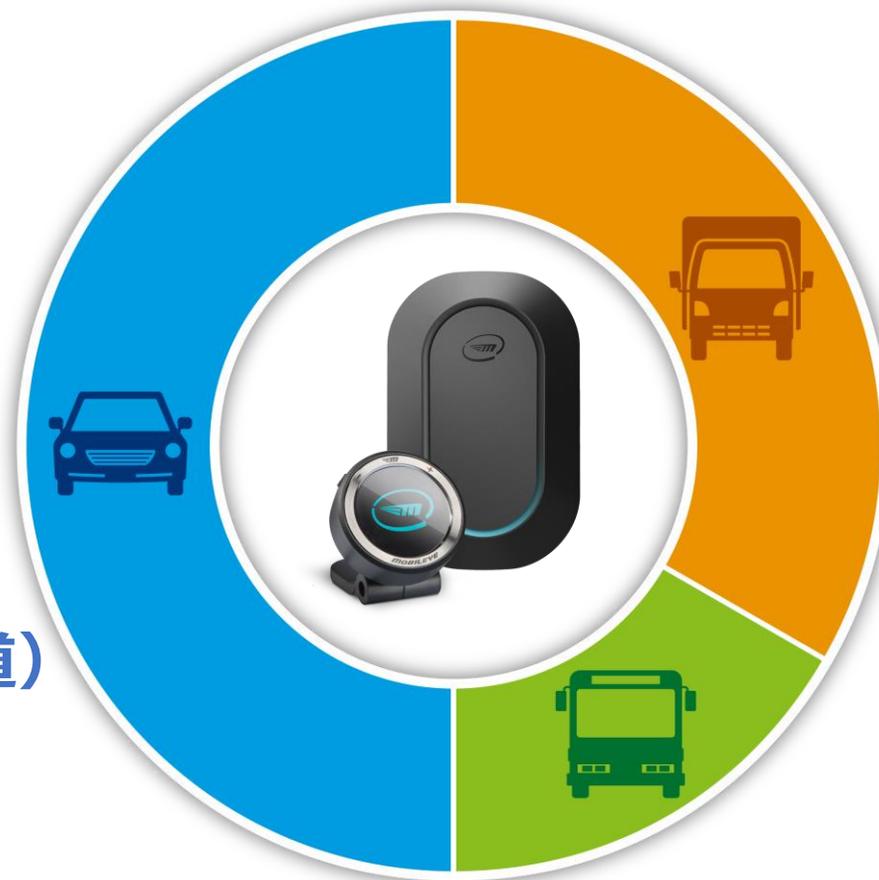
- ・営業用（軽・乗用車）

## 鉄道業界

- ・監督車、線路保守点検作業車

## インフラ業界（電気、ガス、水道）

- ・エンジニア用（軽・乗用車）
- ・営業用（軽・乗用車）



## 〈トラック〉

約40,000台

### 大手運送会社

- ・最大1000台以上

### 大手引越し会社

- ・最大1000台以上

### 土木、建設用車両

- ・数百台規模

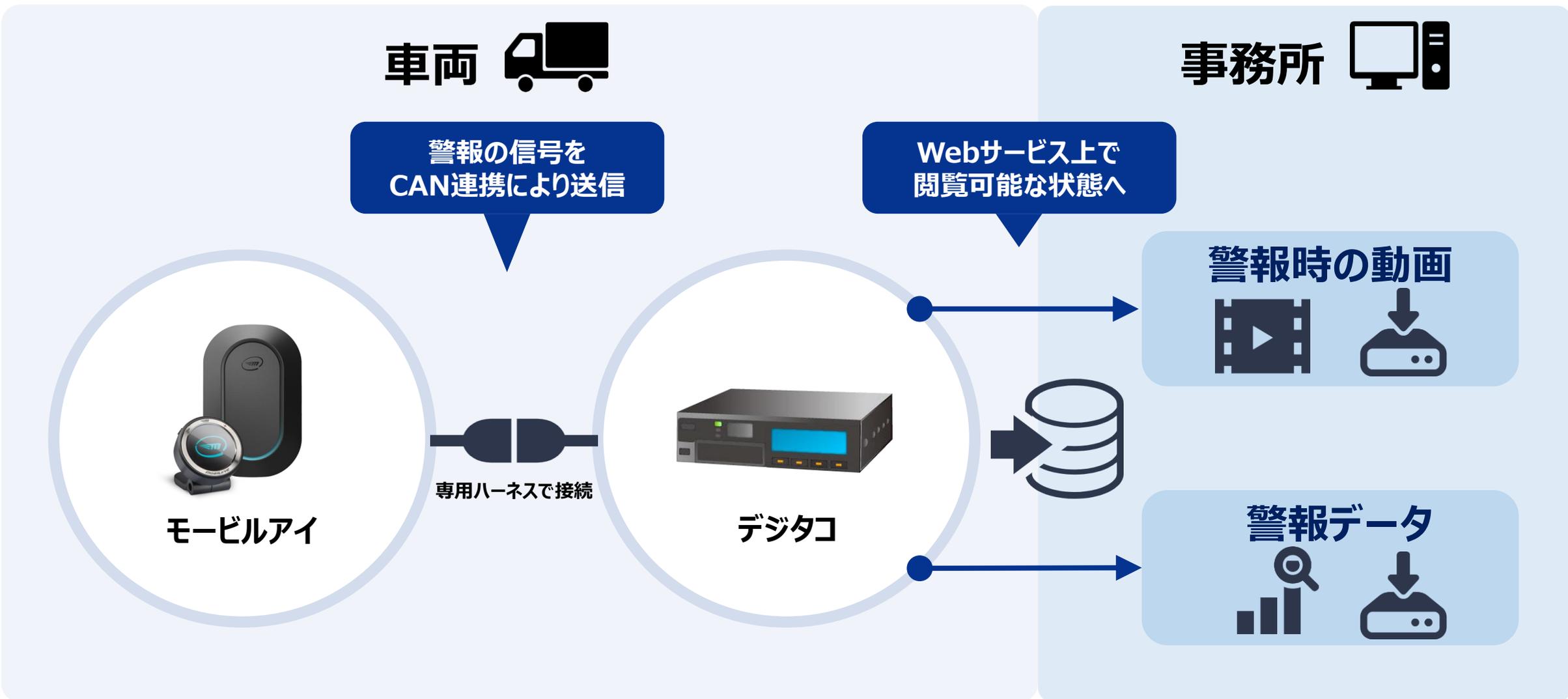
## 〈バス〉

約15,000台

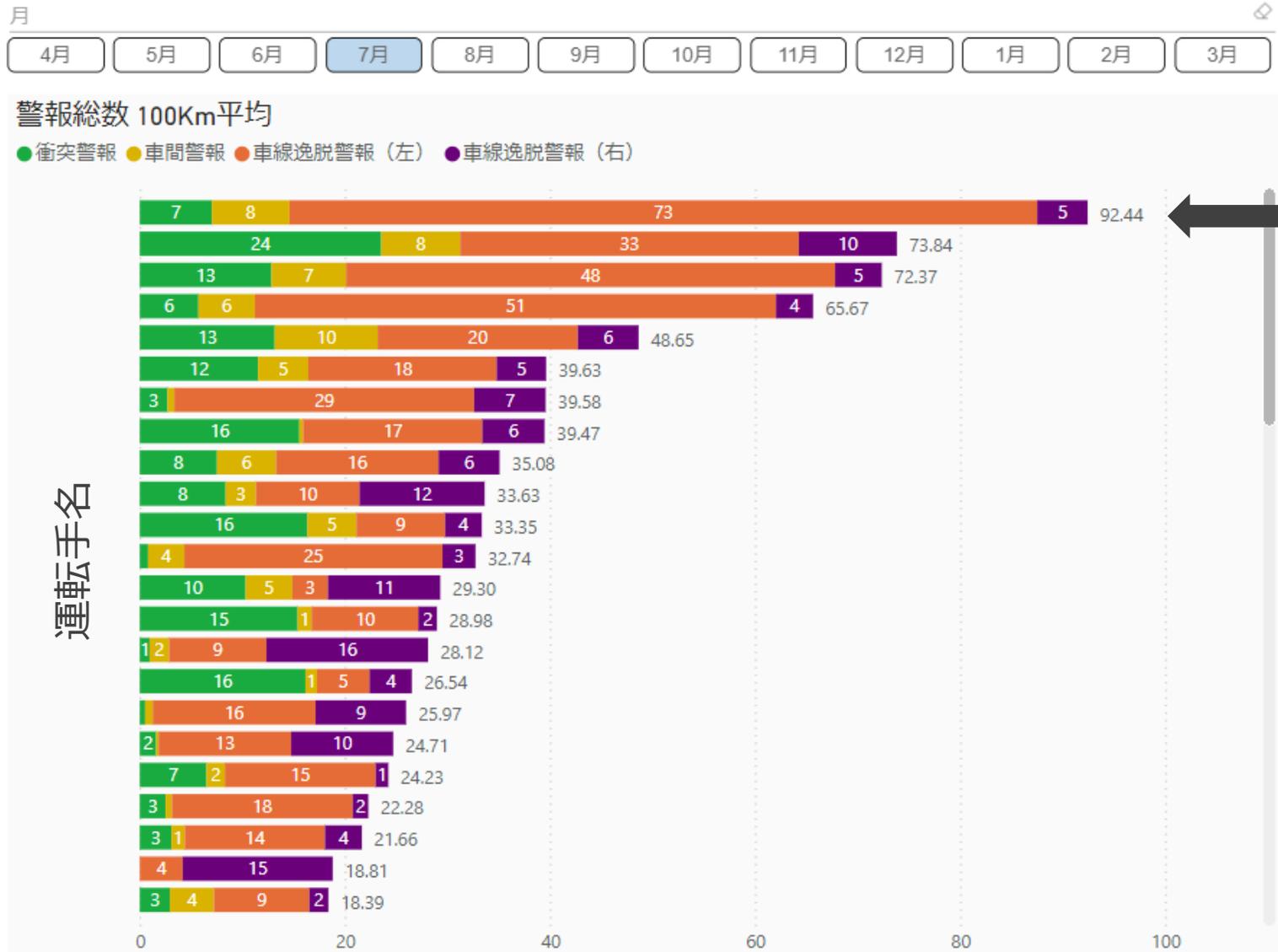
合計250社以上

数百台規模 多数

# 外部機器との連携で運転行動を管理・評価できる環境へ



# 運転手の運転行動を定量的に捉え、異常を把握する



いつもより警報多いかも？

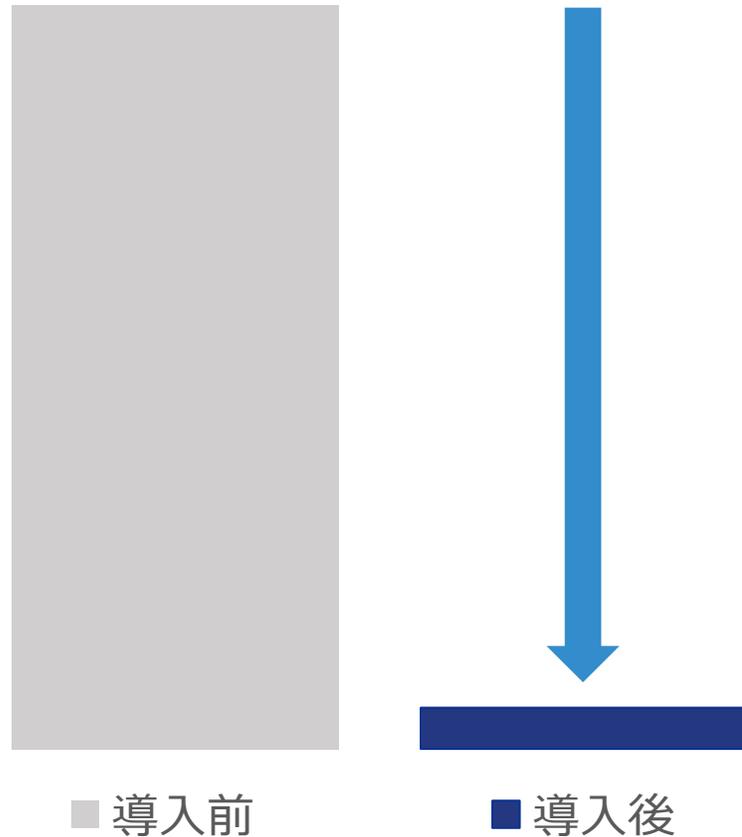
なぜ 体調が悪い？  
寝不足？  
ながら運転？

↓ヒアリング

対応していく

# 大手物流事業者様の事故削減例

モバイルアイ導入による前方系事故発生率の変化/月次



前方系事故の発生率

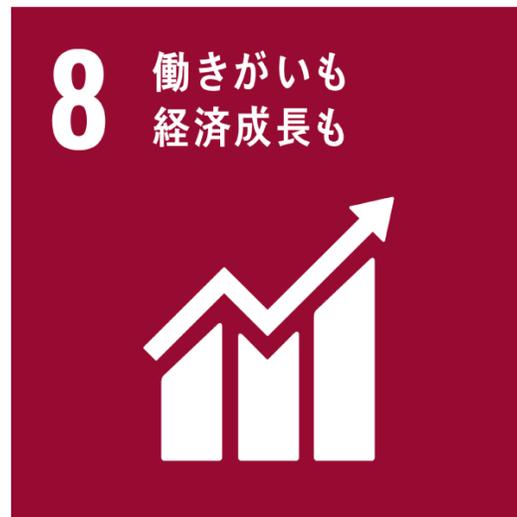
**91%減少**

- ✓ 追突事故
- ✓ 居眠り運転による事故
- ✓ 漫然運転による事故

# 該当する目標



運転行動を数字で把握し、  
運転手の癖や調子を確認、  
事故を未然に防ぐ



同一の運転基準で評価さ  
れる仕組み、公平で働き  
やすい職場へ



交通事故の防止を通して、  
安心安全なまちづくり

# 現場で回す安全運転意識を強めるサイクル

定量・事実に  
基づいた情報  
を収集・分析  
(時には定性面も)

## 情報収集

データを集め  
現状を観察



## 現状把握

集めたデータから  
改善点を見つける

事故に繋がりそう  
な潜在する事故  
リスクを抽出



データや動画を使  
い具体的な  
安全教育を実施

## 方策実行

使用しているツール  
で安全教育実施



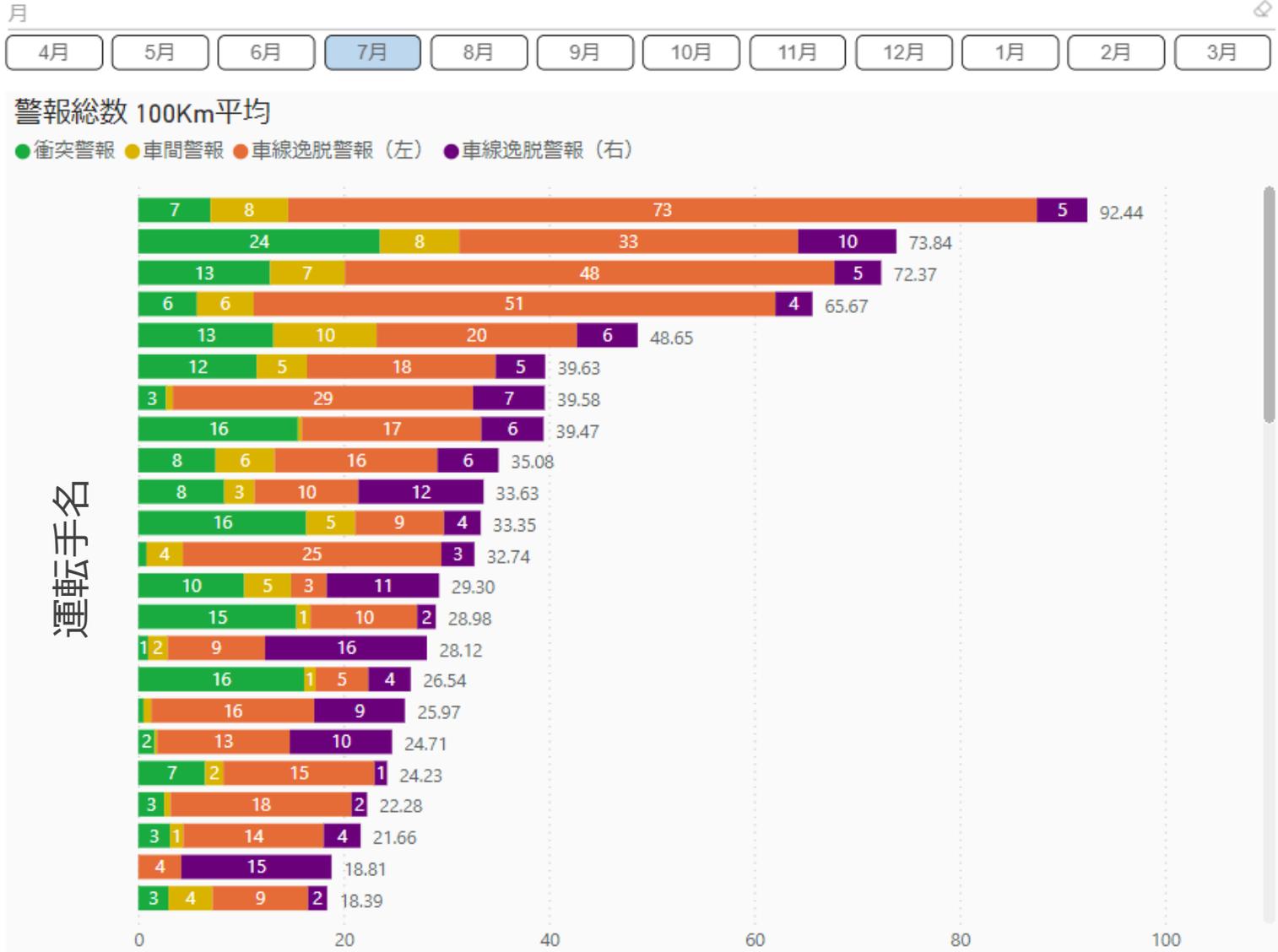
## 方策決定

取り組む改善点を  
選定/決定する

誰に・どのような  
アプローチをすべき  
なのか検討



# 同じ評価基準が引き上げる、安全品質



Q.全員同じ評価で良いのか？

警報が少ない → 高評価

警報が多い → 改善

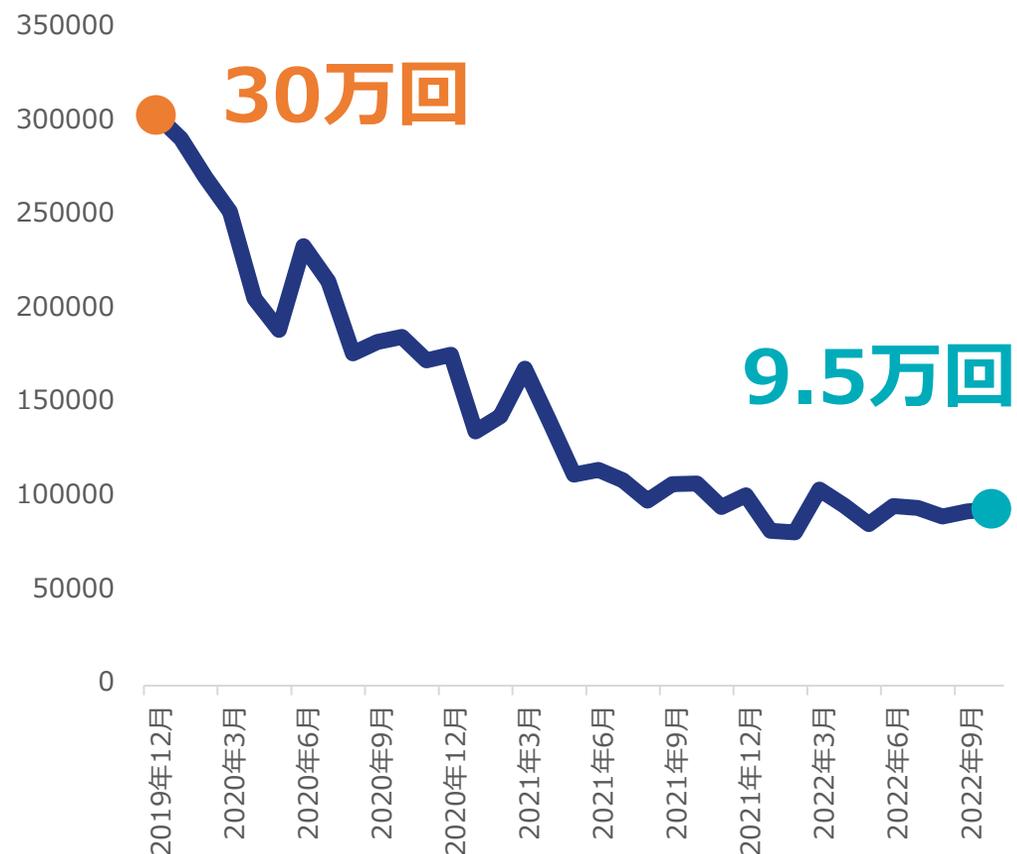


安全運転意識の強い方が増え

働きやすく、安心安全な職場へ

# 運転行動を定量的に管理・評価し、事故を減らす取り組み

月次 総警報数の推移/250台[回]



導入時 → 2年半後

20万回/月 減少

警報が鳴らない  
運転行動を意識

自責事故ゼロ



# 管理者様の声



ドライバーの運転行動が“見える化”され、個々の運転特性が把握できるようになった。改善ポイントが具体的に分かるので指導しやすい。

## 見える化

### 警報多いドライバー TOP5へ重点指導

衝突警報と車間警報が多いドライバーTOP5へ重点的に指導しており、ドライバーが車間を意識するようになってきていると感じる。警報数も減ってきている。



普段はおとなしい方でも警報数が多いことが分かった。これまで見えていなかったドライバーの“運転中の性格”が把握でき、指導に役立てることができている。

## ドライバー 運転中の性格

### 車間距離不足 把握できた

デジタコの純正警報は車間警報が少なかったが、モバイルアイは警報が鳴っていて、(データの確認により)実は“車間距離不足”であることが分かった。



# 該当する目標



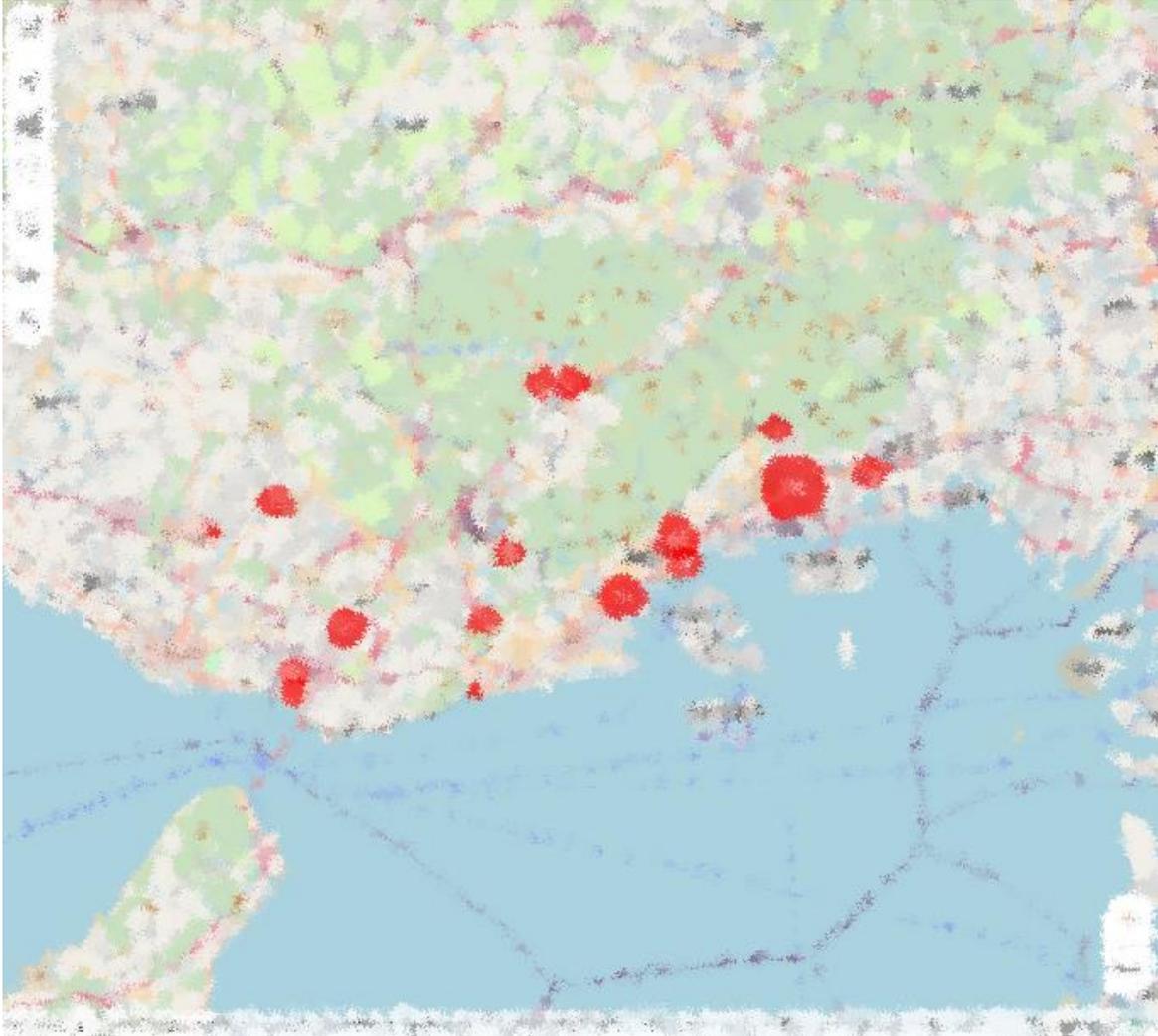
運転行動を数字で把握し、  
運転手の癖や調子を確認、  
事故を未然に防ぐ



同一の運転基準で評価さ  
れる仕組み、公平で働き  
やすい職場へ



交通事故の防止を通して、  
安心安全なまちづくり



## 歩行者警報の多い地点を把握 市街地、狭あい道路での走行注意

どのように役立っているか？

- ・ 把握できていなかった事故リスク地点の把握
- ・ 注意した走行が必要な地点の再認識



街の安全を考えた輸配送を心がける  
安心安全な街づくりに貢献

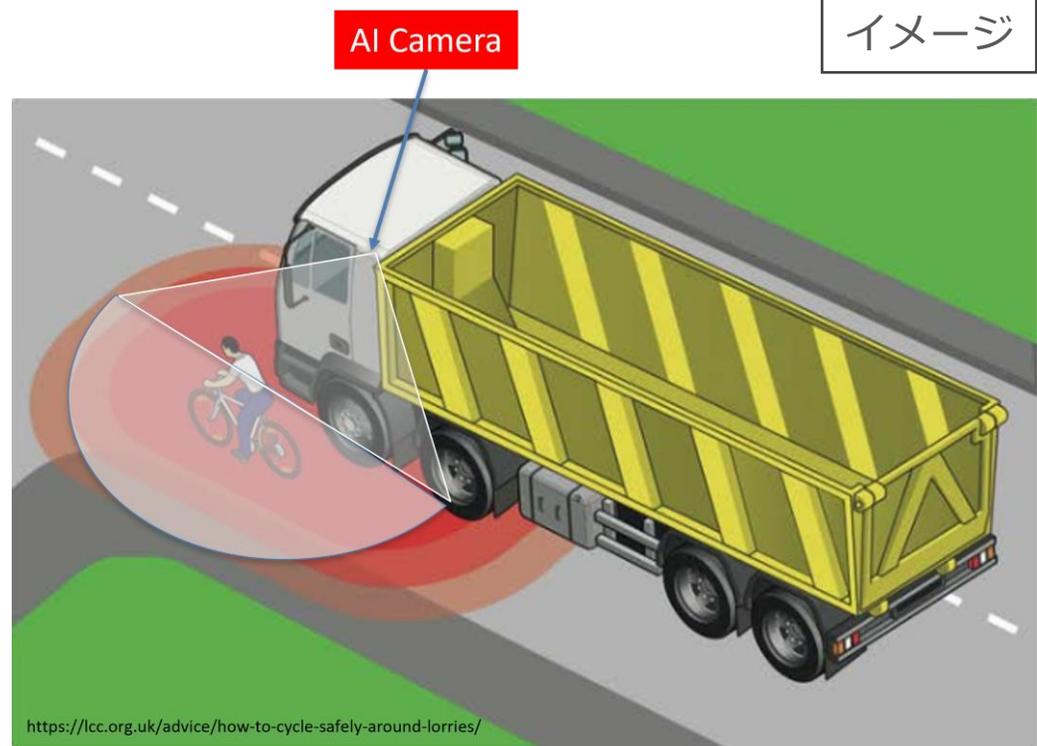
# 人や自転車との接触事故を防ぐソリューションの提供も開始

## レーダーとAIカメラを組み合わせた日本初のシステムで巻き込み事故の防止に貢献します



Radar Predict

イメージ



UN ECE R159に準拠した製品

ありがとうございました。